

校長室便り

(文責)

ドーハ
日本人学校校長
酢谷昌義

感謝の気持ちを伝えたい

先週の水曜日に、愛知県の旭北小学校とウェブ交流を行いました。今回は、たくさんの図書を送ってもらったことに対しお礼の気持ちを伝えたいと、5・6年生を中心に司会・進行をしながら交流会を行いました。送ってもらった本に関するクイズは5・6年生、カターンやドーハ日本人学校に関わるクイズは3・4年生が担当し、とても和やかな交流会を行うことができました。

珍しくインターネットの調子が悪く、お互いの様子を画面で見られるようになるまでに、ずいぶん時間がかかってしまいました。子ども達は事前にリハーサルをして、準備はしっかりと行っていたのですが、こういうトラブルの場合は仕方ありません。その場に合わせて臨機応変に対応しようと、予定より少し遅れて始めました。

初めは映像が映らず音声も何度も途切れましたが、やがてお互いの映像が見られるようになった時には、思わず歓

声が上がりました。

スクリーンに映る旭北小学校の子ども達みんなが、笑顔でこちらの企画をととても楽しんで見ることができました。ドーハ日本人学校の子供達の「何とかして感謝の気持ちを伝えたい」という思いは、きっと旭北小学校の子ども達に届いたのではないかと思います。

これで図書室の本は1000冊を超えました。児童代表のお礼の言葉の中にもありましたが、送ってもらった本はこの先大切に使っていきたいと思っています。そうすることが、相手の気持ちに伝えることでもあると思います。感謝の気持ちを、本を読むことで表せたらとても素敵だと思います。



楽しいクイズが盛りだくさん



今回は小学部だけが参加してウェブ交流を行いました



お礼に民族衣装をプレゼント

新しい友達

第1学期に2週間ほど体験入学をして、日本に帰国していた〇〇〇〇(〇〇〇〇)さんが、ドーハ日本人学校に仲間入りをしました。

多くの子ども達が覚えていたこともあり、転入したその日から、もうすっかり打ち解けとても楽しそうに過ごしています。

ますますにぎやかで活気ある学校になりそうで、とても楽しみです。



中学部期末テスト

明日から中学部は第3学期の期末テストが始まります。教科によっては1年間のまとめのテストとして行われることもあります。いつも呼びかけていることですが、しっかりと準備をして全力で取り組んでほしいと思います。

自分の力を伸ばし、確かなものにするための定期テストです。計画的に準備してきた成果を、十分に発揮してほしいと思います。

校長室便り

(文責)

ドーハ
日本人学校

校長
酢谷昌義



今月の詩を暗唱にきています

「自立」を目指して...

ドーハ日本人学校では、いろいろな場面を通して子ども達が「自立」の力を身につけられるように指導しています。しかしこの「自立」という言葉は、人によって様々な受け止め方があるように思います。広辞苑に表された意味は「他の援助や支配を受けず自分の力で身を立てること。ひとりだち。」とあります。その例文として「経済的に自立する」と示されています。

上に示すような意味の場合には「自立=自活」というイメージが強くなるように思います。そういう意味があるのは確かですが、私の受け止め方は少し異なっています。自立の最も重要な点は、私達一人一人が社会の一員として自己の考えをしっかりと持ち、また的確にそれを言葉で表現したり行動にうつしたりできることだと考えています。まず「自分はこう考え、こうしたい」という意思を、しっかりと表現できなければならないと思っています。その意思が個人の

わがままや勝手な思い込みであつたとしても、それを尊重することから始めなければならないと思います。

幼いときからいろいろな場面で「あなたはどうしたいのか？」を聞いてやることは、そういう意味でとても大切なことです。そして成長とともに、また広がっていく集団の大きさに応じて、わがままや勝手な思い込みから、社会の一員としての様々なものの見方や考え方ができるように、訓練していかなければならないのだと思います。

そのときに大切なことは、決して自分の思い通りにならないことがあるということをしちんと知らせることです。

子どもは自分の思い通りになることや、思い通りにしてくれる人からは何も学ぶことができないからです。それは相手が友達でも先生でも親でも同じです。

『現代の教育に1番欠けているものの1つは、子どもをいつまでも過保護に子ども扱いして、決して一人前の人間として生きる自信をつけさせないことである。つまり大人になるための苦難の道を体験させないことである。』と言われた有名な方がいます。子ども達に本当の意味で「自立」の力をつけていくためには、私達大人がよく考えてみなければならないことではないかと思っています。

引き続き頑張っている中間休みの「マラソン」

運動会も砂丘マラソンも終わりましたが、中間休みのマラソンは続けています。2時間目が終わるとすぐに外に出て走り始める子ども達は、毎日元気いっぱいです。

こうした日々の取り組みは、

きっと子ども達をいろいろな面で鍛えることになると思います。

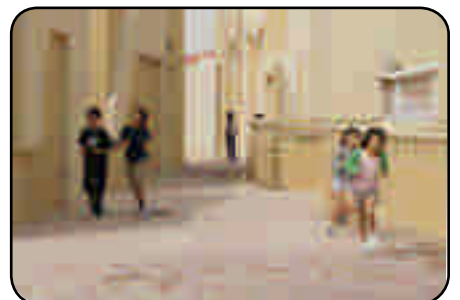
戸外で走り回ることができるのは、この先そう長くは続きません。わずかな時間も大切にしてほしいと思います。



最近はお外でよく遊びます



毎日2時間目が終わるとみんな頑張って走り続けています



校長室便り

(文責)

ドーハ
日本人学校校長
酢谷昌義

玄関回りは花盛りになっています

安心して生活できる幸せ

政治的に不安定になっている中東・アフリカ地区のようすが、いろいろなメディアを通じて流されています。「カタールは大丈夫なのか」と、個人的にもいくつか問い合わせを受けました。危機感を募らせている国は増えていますが、中でもエジプトとバーレーンの日本人学校は、その影響を直接受けています。

カイロ日本人学校は現在休校中で、先生方は一時避難帰国されています。バーレーン日本人学校も、先日休校措置をとられました。真珠広場でのデモ事件後は、避難帰国する人達が相次ぎ、残っているのはほとんど大使館と派遣教員の子も達だけになっているそうです。

身近でこういう事態が起きると、安心して生活できると

いうことが、どれほどありがたいことなのかを改めて強く感じます。安心・安全であるということは、何にも増して重要なことです。しかしこの国では、そんなに意識することなく生活できています。海外で生活していて、これは本当に恵まれたことだと思います。

かつての湾岸戦争の時、ここカタールもその影響を受けました。当時のドーハ日本人学校は休校となり、多くの日本人は避難帰国しました。その後、学校を再開しても帰ってきた子ども達は、休校前に比べ激減していました。治安は回復しても、以前のような児童生徒数にはなかなか戻らなかったのです。これは仕方ないことかもしれません。安全が確保できないという心配があるところで、何かに集

中するということは、おそらくできないと思います。

政情不安の国々が、これから先どのように進んでいくのか分かりませんが、一日も早く子ども達が安心して学べる環境になることを願わずにはいられません。

安心して生活できる、そして学べる環境にあることに感謝し、私達は一日一日を大切にしていきたいと思っています。

みんなのために!!

昨日の放課後は委員会活動の時間でした。委員会は学校のみんなのことを考え、自分達でより良い生活にしていけるための時間です。限られた時間でしたが、どの委員会も一生懸命取り組み、それぞれの仕事をこなしていました。

人のために働いたり自分が誰かの役に立っていると感じられる経験は、子ども達の成長にとってとても大切です。わずかな時間でも有効に使い、少しでも自主性の芽を伸ばしていきたいと思っています。



時間いっぱい活動していました



戦車や装甲車が走り回るバーレーン市街のようす

校長室便り

(文責)

ドーハ
日本人学校
校長
酢谷昌義



スクールキャンプのオリエンテーション

楽しみなスクールキャンプ

来週は子ども達がとても楽しみにしている、スクールキャンプが計画されています。そのための全体オリエンテーションが今週行われ、班分けと各班ごとのスタンプ(出しもの)等についての説明がありました。子ども達がとても楽しみにしていることが、説明を聞いたり打ち合わせをしたりしているときの態度によく表れていました。

昨年のスクールキャンプは、本当に楽しく過ごすことができ、とても良い思い出に残すことができました。学校で寝泊まりするという、普段とは違う生活をするという楽しみもありますが、それだけではありません。それぞれの班ごとに食事の計画をし買い物に出かけ、みんなで協力して夕

食と朝食をつくります。スタンプも、みんなが楽しめるものをそれぞれの班が工夫しながら、わずかな時間を利用して練習をしてのぞみます。また、みんなが楽しみながら、各班のつながりがより強くなるように工夫されたゲームが企画され行われます。

このように、子ども達1人1人が自分達の思いが活かせる、自分達が進んで取り組んでいるということを実感しながら活動できるということが、何よりも楽しさに結びついているのだと思います。それに

加えて、いつも以上に「縦のつながり」が働き、上級生がみんなをまとめてくれることだと思います。スクールキャンプという経験を通して、今まで以上に所属感や連帯感を高めることができ、集団の中での立場の自覚もできるようになっていくように思います。

今回も各班のリーダーを中心にみんなの思いを出し合いながら、それぞれの班ごとの特徴を出してほしいと思います。準備の時間は多くありませんが、精一杯頑張ってくださいと思います。

Japan Music week

大使館のメールマガジンでご承知の方も多いと思いますが、今日から「Japan Music Week」ということで、和太鼓とジャズの演奏会が行われます。昨年も和太鼓と篠笛の奏者が来られ、大変素敵な演奏を聴かせてくれました。

今回も素晴らしい奏者が招待されています。「日本人学校の皆さんにも、ぜひ聞いてほしいので勧めてみてください。」と、門司大使からも直接お願いがありました。

和太鼓の演奏は、子ども達も十分楽しめるものだと思います。ご都合のつく方は、演奏会に出かけてみられてはいかがでしょうか。

「和太鼓演奏会」

2月24日(木)

- ・ナショナルシアター
- ・午後7:00~

2月26日(土)

- ・スーク・ワキフ
- ・午後7:00~

きっと楽しめると思います。



昨年のスクールキャンプのようす

